

【応募書類提出期限】 2026年5月22日（金）

【応募書類提出場所】 学生支援課経済支援係（共通教育棟1階事務室9番窓口）

※ 複数名応募があった場合は、学内選考を実施いたします。予めご了承ください。
また、学内選考の実施に伴い、追加でご提出いただく書類があります。
本資料の5ページ目を必ずご確認ください。

奨学生募集要項

（大学・高等専門学校）

一般財団法人 関育英奨学会

設立にあたって

関育英奨学会は、故前理事長 関 湊夫人 関よつの発意によるものである。

幼少時代から困窮の中を努力第一主義を信念として生きてきた夫妻は、七十余年の生涯を顧みて、よく考えると、自分たちの今日あるのは全く国家社会の恩恵によるものであり、また世間の多くのよき人々の暖かい援助があったお蔭であることを痛感し、感謝せずにはおられなかった。そこでこの恩に報いるためには何をすべきかを夫妻で協議した。結果、それには前途ある有為の人物の育成、即ち育英事業のお手伝いをするのが、社会の大恩に報いる最もよい方法と考えた。育英奨学会の設立を念願して、二人は私財を合わせこれに投じた。夫妻の念願は叶えられ、昭和56年1月8日文部大臣からその設立を許可されたものである。

この事業の目的は、資質優秀な学生に対し、学費を貸与して、修学援助を行い、将来社会に貢献し得る有為の人材の育成をはかり、もって社会の発展と福祉に寄与しようとするところにある。

奨学生を志望される方は、よく、この感謝と報恩の心を理解して、応募していただきたい。

※注

提出書類(2)の「在学学校長または学部長の推薦調書」について、
【推薦所見】欄は指導教員の先生に記入を依頼してください。
なお、指導教員がない場合は自己推薦としてご自身で内容を記入してください。
(自己推薦の場合、記載者欄は空欄のままご提出ください。)
その他の欄は学生支援課経済支援係にて記入・押印しますので、空欄のままご提出ください。

奨学生募集要項

1. 奨学生の出願資格

本会が推薦校として指定した大学の第2・3・4学年(6年制学部については第5・6学年も可)、~~高等専門学校の第2・3・4・5学年~~に在学し、人物・学業とも優秀かつ健康でありながら、学資の支弁が困難と認められる者で、在学する学校の推薦した者。
※貸与型奨学金のため留学生は対象としておりません。

2. 出願手続

出願書類の様式は、下記財団ホームページよりダウンロードしてください。
<https://www.seki-ikueikai.or.jp/applca.html>

奨学金の貸与を希望する者は次の書類を揃えて在学する学校長を経て、本会に出願して下さい。→ 本資料1ページ目に記載の場所にご提出ください。

(1) 奨学生願書(本会所定の用紙)

※注 (2) 在学学校長または学部長の推薦調書(本会所定の用紙)

(3) 成績証明書

(4) 在学証明書

(5) 作文(市販の400字詰原稿用紙800字以内)

題「将来の夢」※ 作文：指定の文字数の原稿用紙を2枚使用し自筆のこと

学内選考の実施に伴い、追加で提出が必要な書類があります。本資料の5ページ目をご確認ください。

3. 奨学金の貸与金額及び貸与期間

(1) 奨学金の貸与額(貸与型のため返還の義務があります)

・大学生 月額3万円

~~・高等専門学校生 月額2万円~~

(2) 貸与期間

奨学生となってから、在学する学校の正規の最短修業期間。

4. 貸与の方法

原則として毎月当月分を本人の申出により銀行に振込送金します。
ただし特別の場合は2カ月以上をあわせて送金することがあります。

5. 奨学生の採用

奨学生の採用は、本会の奨学生選考委員会の選考を経て理事長がこれを決定し在学学校長を経て本人に通知します。

採用になったときは、学校から採用通知書と誓約書等を受取り、所定事項を記入押印して必ず期日までに学校に提出して下さい。

理由なく期日までに提出を怠った者は採用を取消します。

6. 奨学金の休止、停止、廃止

- (1) 奨学生が休学し、又は長期にわたり欠席するときは奨学金の交付を休止します。
- (2) 奨学生の学業又は性行などの状況により、指導上必要があると認めたときは交付を停止します。
- (3) 奨学生が次の各号の一つに該当すると認められるときは、奨学金の交付を廃止します。
 - ① 傷病のため成業の見込みがなくなったとき
 - ② 学業成績又は性行が不良となったとき
 - ③ 奨学金を必要としなくなったとき
 - ④ 奨学生として適当でない事実があったとき
 - ⑤ 在 schools で処分を受け、学籍を失ったとき

7. 奨学生の復活

規定により奨学金の交付を休止又は停止された者が、その事由が止み、在学学校長を経て願い出たときは、奨学金の交付を復活することがあります。

8. 奨学生の義務

奨学生として採用されたときは次の事項を守ることを誓約するものとします。本会の定める奨学金貸与規程その他の規定を守り、本会及び学校の指示に従い必要な手続きは怠りなく行うこと。なお、ひたすら学業に励み、健康に留意し、奨学生にふさわしい行動をとること。

また、奨学生のために行う本会及び学内の各種行事等には積極的に参加し、奨学生間の意識を高め、相互の親睦に努めること。

9. 奨学金の返還

奨学金は学費として貸与するもので、奨学金はこれを卒業後必ず返還しなければなりません。この返還金はただちにその年の奨学金となり後輩に貸与されます。

奨学金の返還は、貸与が終了した月の翌月から12か月を経た後、20年以内に年賦、半年賦または月賦による等額割賦の方法によります。奨学金は無利息です。返還の手続き等は貸与期間終了のとき、規定により必要な書類を調製します。

10. 願書記入上の注意

奨学生願書は選考上、大切な書類です。書類提出時の状態をありのままわかるように記入してください。記載内容が故意に事実と相違して記入してあるときは、採用後でも取消します。

■ 学内選考用の申請書類について

本奨学金にご応募される際は、財団指定の書類に加え、下記に記載の①～③（③は該当者のみ）の書類をご提出ください。下記書類は、応募者が複数名となった場合に実施する「学内選考」に使用いたします。また、財団指定の応募書類を提出していても、下記書類が未提出の場合は応募不可となりますので、ご注意ください。

	学内選考用応募書類	注意事項
①	同一生計家族全員分の令和7年度(令和6年分)所得課税証明書(写し)	収入金額および所得控除の金額が記載されているもの。(税額のみ記載されているものは不可。)無収入の者で所得課税証明書が発行できない場合は、住民税非課税証明書を提出。
②	学内選考用奨学金申請書	様式有り。記入の際は手書きではなく、Excel 上に入力すること。
③	特別控除に関する提出書類	該当者のみ・様式有り。詳細は②の申請書を参照のこと。

②及び③の各様式は、下記民間奨学金ホームページ内の該当奨学金募集欄に添付しております。ご不明な場合は、経済支援係までメール（宛先：ga113@yamaguchi-u.ac.jp）にてお問い合わせください。

[民間奨学金ホームページ]

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~st-support/st-support-center/tebiki/te-tsuzuki/scholarship/private-local/index.html>